許斐山（このみやま）

福岡県　宗像市･福津市　　2023年　7月16日

展望抜群　市民が集う山頂広場

許斐山(このみやま)の山頂広場

本日のコース　＜全行程　1時間34分＞

駐車場　9:28　→　許斐山登山口　9:35　→　熊野神社　10:06　→
許斐城 馬場　10:11　→　許斐山山頂　10:17　＜休憩＞　10:28　→
許斐山登山口　11:00　→　駐車場　11:06

許斐山？→最初は読み方が分からなかった！　調べてみると「このみやま」
許斐山は福岡県宗像市と福津市に跨る標高271メートルの低山である。
酷暑の中スタートしたが、案の定汗が滝のように流れる。夏場の低山は仕方ないとはいえ、どんどん体力が消耗していった。とにかく熱中症には気を付けて、水分補給を怠らずに登山道を進んだ。

駐車場をスタート　9:28　トイレも整備された綺麗な駐車場だった
（トイレ前に登山用の杖も用意されている）

駐車場横の道路を上って行く　9:30
（駐車場からこのみ公園を抜けて登山口に進むルートもあります）

有害鳥獣の駆除を知らせる看板　令和5年4月1日～令和6年3月31日

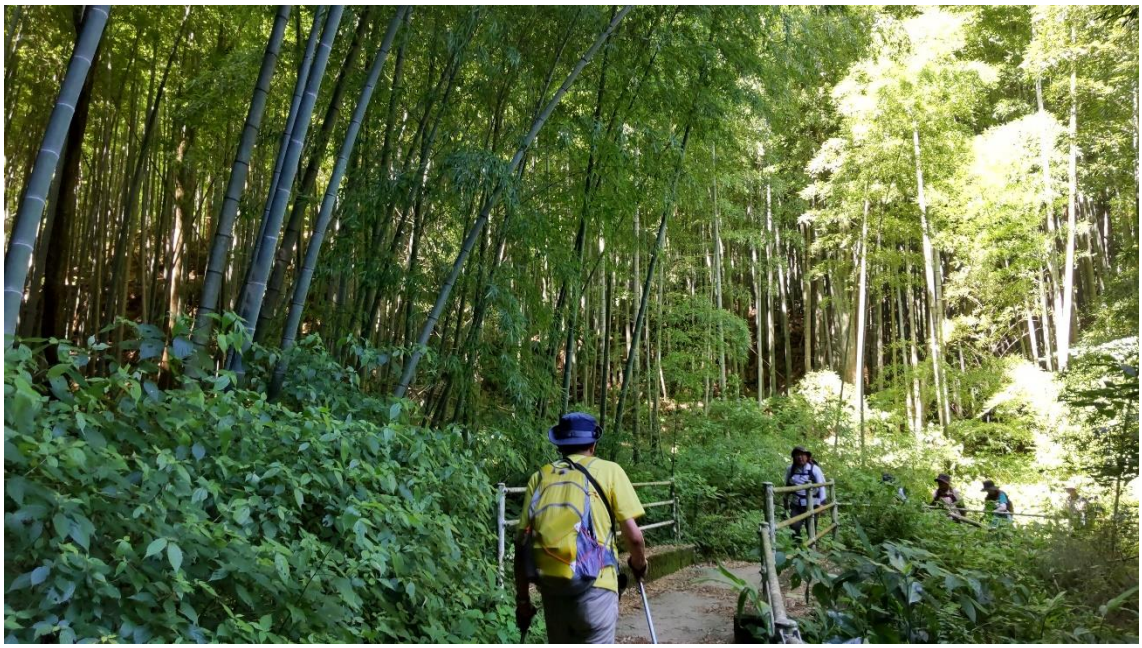
銃器による駆除と書いてある

道路を上り詰めると許斐山登山口　9:35

許斐山ルートMAP

許斐山城址の説明看板

大治5年(1130年)宗像大宮司氏平が姓を許斐と改め許斐山に築城、第16代氏宗がこの城を補修し、正式に宗像本家の出城とし、その子氏元が許斐家の始祖と称されている。明応8年(1499年)蔦ヶ城(城山)城主から攻められて、第25代許斐城主氏能は、田島の岩ヶ崎にて戦死。城はつぶされた。(説明板より抜粋)



竹林地帯を歩いて行くと、既に下山するグループとすれ違う　9:40

登山道の途中に鳥居が現れた　9:42

ベンチに腰を下ろして休憩　9:54　見える稜線は宗像四塚

階段は地味に続く　9:57　汗は滝のように流れる

分岐を左へ　10:06

熊野神社　10:06

天安元年(857年)和歌山県の熊野総本宮より熊野権現を迎え奉った。
天正年間(1573年～1591年頃)小早川隆景が筑前の国主であったころ、熊野権現祭祀の最盛期で年間24度の祭典が行われ許斐流神楽が奉納された。その中の許斐流太鼓は継承されている。(許斐山愛好会)

熊野神社　10:07　内部はかなり荒れている

この社の背後に三尊石という大きな岩があるとのことです。

許斐城　馬場　10:11

宗像氏の重臣占部越前守豊安は、所領三百町歩と許斐城とを天文13年(1544)交換し、城も補強修築した。その頃の馬場の跡である。

小早川隆景が筑前の国主であった頃、ここは乗馬の調練場だったとのことです。

許斐山山頂広場　10:13　急な階段も平気。涼しげな顔のT師匠（祝：古希）

許斐山山頂　10:17　271m

宗像四塚がクッキリ見える。14年前、T師匠と雨の中を縦走したことを思い出す。
（左から　湯川山～孔大寺山～金山～城山）

王子神社

857 年に熊野権現の奥宮として勧請されたもので素戔嗚尊が鎮座されている。今では唯一の宗像大社境外直轄摂社であり、例祭は 4 月 3 日で古くから厳粛な祭儀が営まれている。現在の石祠は明治 18 年に建立されたものである

歴史を感じる石像にも手を合わせる

山頂広場の小屋で登頂記帳をして下山にとりかかる　10:28　下山は山頂周回路を利用広場には手作りベンチが沢山。我々が登頂したあとからも5～6名が登ってきた。そして常連さん同士の挨拶を交わしている。許斐山は市民にとても愛されている。
下山は小屋の横から急坂を慎重に下り、上りの際に通過した分岐に行き着いた。

山頂から分岐に戻ってきた　10:33　こちらの登山道は一部急坂だった（下り注意）
頂上・テレビ塔方面から下って来た。ここからは往路を下って行く。

あちこちに咲いている　ヤブミョウガ

登山口近くに許斐神社への階段がある。寄り道をしてみることにした。 10:55

石段を上ると･･･

許斐神社　10:56　境内は綺麗に草刈り整備がされていた

許斐山登山口　11:00

駐車場　11:06　ゴール

1時間38分の山歩きが終了。とにかく暑かった！お疲れ様でした。